

(一般質問)

質問日	令和6年3月12日(火)			質問方式	分割方式		
質問順位	8	会派名	日本共産党浜松市議団	議席番号	6	氏名	酒井 豊実
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 市長の政治姿勢について	(1) 市長は初めて編成した予算に「地方創生再スタート予算」とネーミングしたが、真意を伺う。 (2) 市民参加の市政を「住民こそ主人公」に立って進めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。						中野市長
2 市職員の「働き方改革」について	昨年度決算で市職員の残業時間は、最長の職員で1163時間に及ぶ。「働き方改革」は避けて通れないが、時間外勤務の縮減も含め、今後どのように進めていくのか伺う。						田中総務部長
3 家庭ごみ有料化について	一般廃棄物行政は、市民を主体に、一にも協働、二にも協働して進めるべき自治体の本来業務である。 そこで、以下伺う。 (1) 家庭ごみ有料化について、市民合意の形成状況を伺う。 (2) 家庭ごみ有料化の推進ではなく、雑がみの自治会ステーション回収や生ごみ消滅型処理装置『キューロ』の普及など、協働の拡充により、ごみ減量目標達成を推進すべきと考えるが伺う。						山田環境部長
4 P F A S 環境汚染対策について	航空自衛隊浜松基地では、P F A S 泡消火剤が使用されてきた。基地周辺の河川や井戸水の各所でP F A S が検出されている。 そこで、以下伺う。 (1) 市長は1月に農林水産省へ要請書を提出したが、国の対応と今後について、見解を伺う。 (2) 中日新聞と京都大学は佐鳴湖の魚の汚染検査を実施して、結果データを新聞発表した。市でも各種の調査・検査を拡大すべきだが、現在実施している周辺事業場の調査状況を伺う。						中野市長 山田環境部長
5 子供の学ぶ権利の保障について	(1) 「学習権の保障」・「義務教育は無償」の実践に当たり、就学援助の拡大について伺う。 ア 援助費目の拡大をすべきと考えるが伺う。 イ 世帯全員の所得額を生活保護基準の1.3倍未満とする認定基準を緩和すべきと考えるが伺う。 (2) 遠距離通学支援のためのスクールバスの基本方針・現状と、浦川地区への対応を伺う。						奥家学校教育部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答 弁 者 の 職 名
6 水害、地震対策について	<p>(1) 洪水・内水氾濫が常態化している。水防団の水防活動における課題と対策について伺う。</p> <p>(2) 本市の地震対策推進事業（プロジェクト「TOUKA I-0」総合支援事業）における木造住宅の無料耐震診断と耐震補強工事の実績と課題を伺う。</p> <p>また、2025年度までとしている「TOUKA I-0」で、耐震化率95%目標を達成させる方策を伺う。</p>	<p>伏木土木部長</p> <p>井熊都市整備部長</p>
7 農地の保全について	<p>持続可能な農業の振興は食料自給率向上の要であり、農地の多面的機能を発揮させることが、農村と都市の生活環境を守る効果をもたらす。地域農業と農地を守る集落の共同活動等も活発に取り組まれている。しかし、現状は転用により農地が10年間で約650ha減少しており、地域農業と農地の危機である。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 本市の多面的機能支払交付金の取組状況を伺う。</p> <p>(2) 地域農業を持続可能にし、優良な水田等の農地を保全して、多面的機能を維持・発揮させる施策の推進について伺う。</p>	<p>清水農林水産担当部長</p>
8 FSC認証林の林業と森林保全管理について	<p>現状の気候変動下において、計画的な間伐推進や林道・森林作業道の開設と、維持管理を踏まえた災害に強い森林づくりの強化対策を伺う。</p>	<p>清水農林水産担当部長</p>
9 過疎地域・中山間地域の医療について	<p>(1) 春野町で持続可能な地域医療を確保していく対策について伺う。</p> <p>(2) 引佐赤十字病院の閉鎖は地域住民に多大な影響を及ぼすと思うが、市の対応を伺う。</p>	<p>平野医療担当部長</p>